

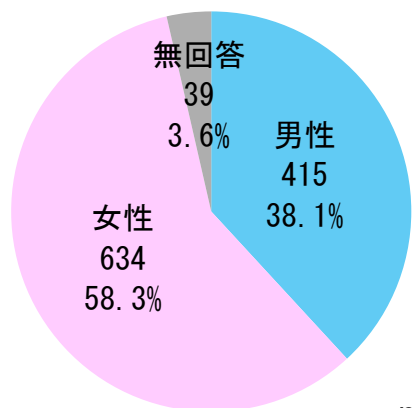
福山市緑の基本計画に係る
市民アンケートについて
(要約版)

実施期間、方法等

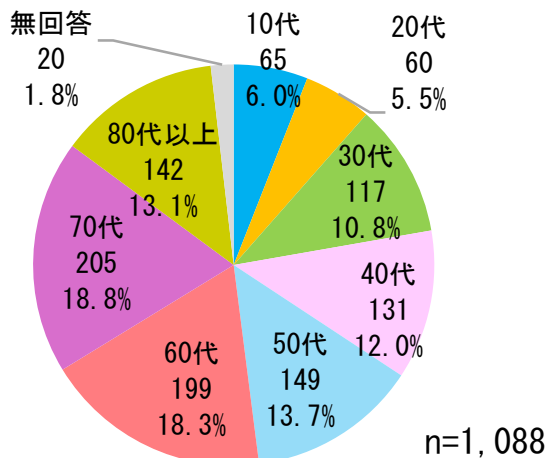
- 実施期間：令和7年11月28日（金）～令和7年12月22日（月）
- 実施方法：紙媒体での配布・回収（対象者は住民台帳より無作為抽出）
- 配布数/回収数：4,000部/1,088部（回収率：27.2%）
- 設問項目：① 福山市の「みどり」について
② 公園や緑地（河川敷など）の利用状況について
③ 「みどりのまちづくり」について
④ 「ばらのまちづくり」について

回答者の属性

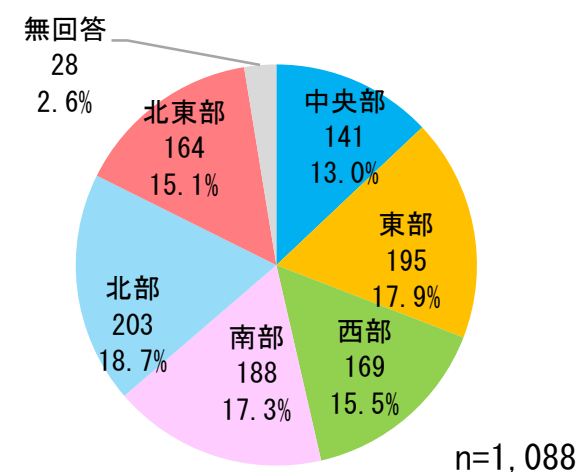
【性別】



【年齢】



【居住区域】



① 福山市の「みどり」について

市民が特に重要と思う「みどり」が果たす役割

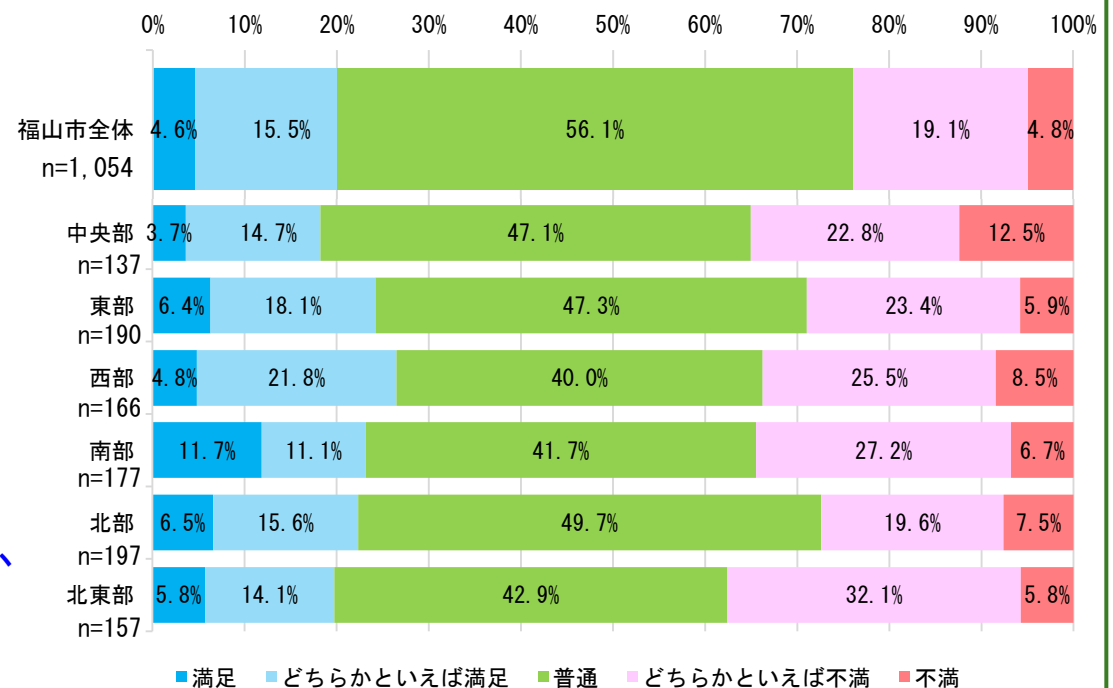
- 「心の癒し」、「防災(保水)」、「暑熱対策」の順に高い傾向
- 居住区域ごとに顕著な差は見られず、いずれの区域も上記3項目が上位。

みどりに対する満足度

- 「市全体のみどり」に対して「身近なみどり(居住区域別)」の方が満足度が低い傾向にある。
- 居住区域毎にばらつきが見られることから、それぞれ地域で異なる状況や課題が存在しているものと考えられる。

⇒居住区域ごとの不満要因を分析し、それぞれの地域特性に応じた施策を展開する必要がある。

【みどりに対する満足度】

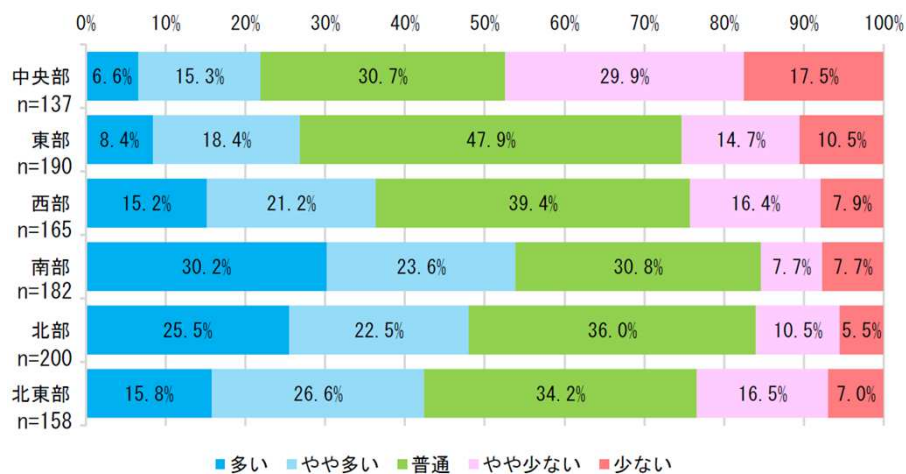


① 福山市の「みどり」について

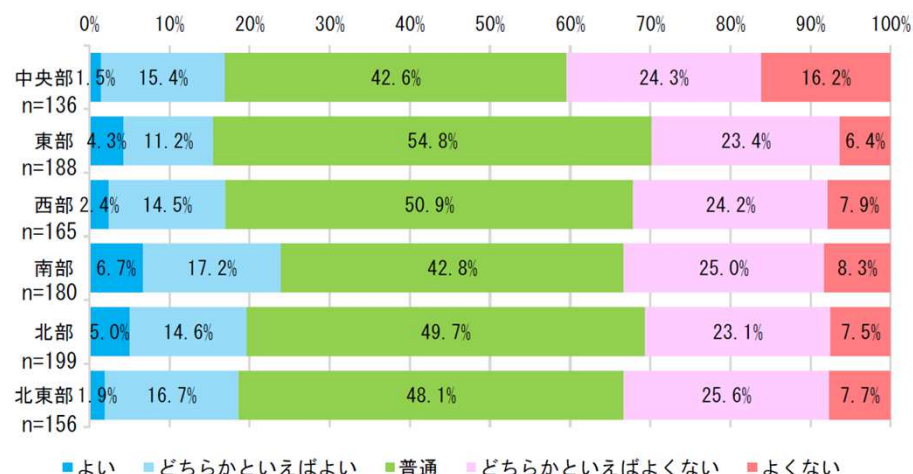
居住区域別のみどりの特性

- 中央部では、他の区域と比較して、「量」が少ない、「質」がよくないと回答した人の割合が明らかに多く、みどりの「量」と「質」の両方に課題を抱えているものと推測。
- 中央部を除く他の区域では、「量」が多いと回答する市民が多い一方、いずれの区域も「質」に対する評価は低いことから、「質」に対して課題を抱えているものと推測。

【みどりの「量」に対する感じ方】



【みどりの「質」に対する感じ方】



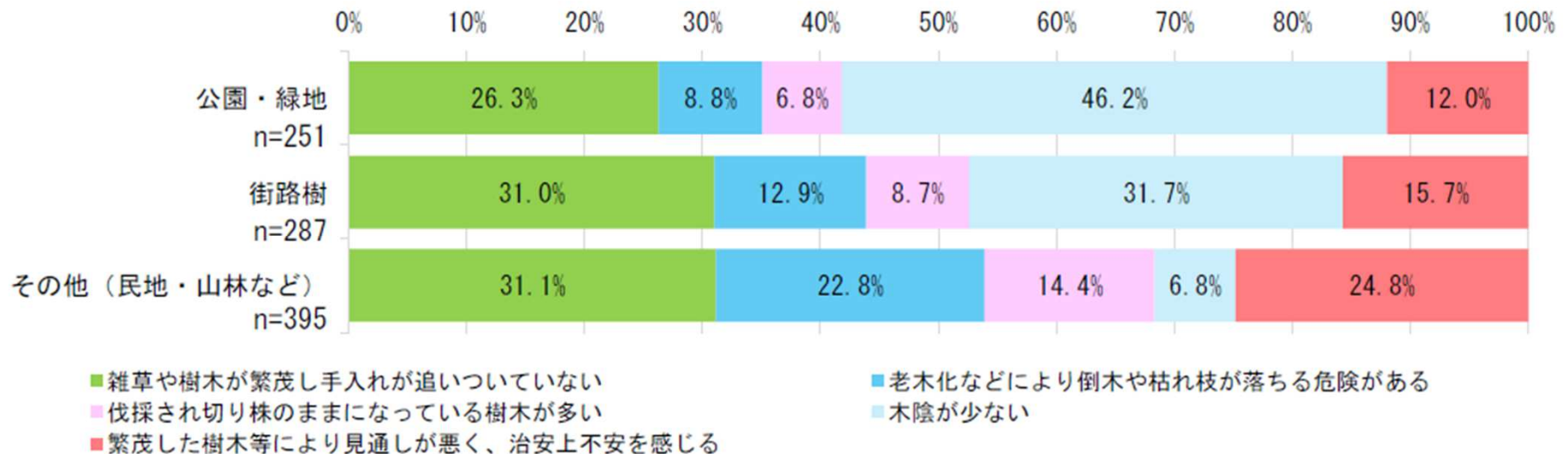
⇒ 中心市街地を含む中央部では「質」の向上と「量」の充実を両立。
中央部以外の区域では、既往のみどりの「質」の向上に注力する必要がある。

① 福山市の「みどり」について

みどりに対する不満の要因

- 市街地の公園や緑地、街路樹では「木陰の少なさ」、「雑草・樹木の繁茂」が特に課題となっていることから、緑陰の確保、除草・剪定頻度の維持・向上が求められている。
- 民地・山林などでは「雑草・樹木の繁茂」、「落枝・倒木リスク」、「見通し・治安の悪化」が大きな不満要因となっており、安全リスクのある樹木の除去等が求められている。

【みどりに対する不満の要因】

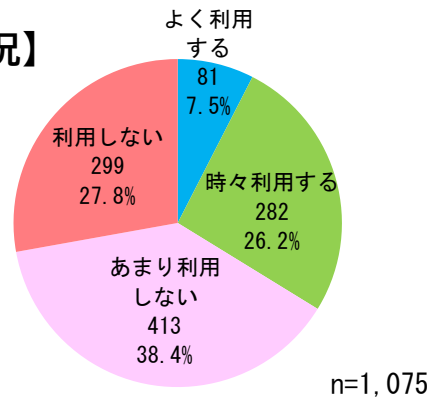


⇒市街地(公園・緑地、街路樹)と市街地周辺部(民地・山林)では、不満要因が異なるため、それぞれの地域特性・課題に応じた、対策を講じる必要がある。

② 公園や緑地（河川敷など）の利用状況について

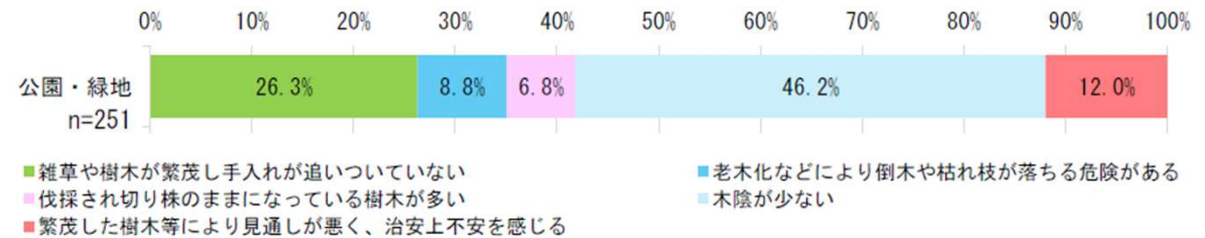
- 公園を定期的に利用している市民の割合は現況では、約3割程度と限定的。

【利用状況】



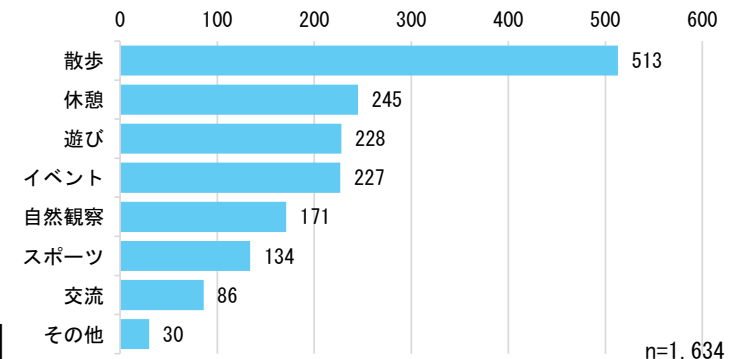
- 公園・緑地への不満の要因としては「木陰の少なさ」が最も多い傾向。
- 上記が利用頻度が伸びない要因の1つになっていると推定

【公園・緑地への不満の要因】



- 現在の公園の利用環境が散歩や休憩など限定的な利用目的にしか対応できておらず、他の潜在的なニーズに十分対応できていない可能性も考えられる。

【主な利用目的】



⇒ 緑陰の確保をはじめ、既存の利用者の不満要因を解消するとともに、潜在的なニーズを掘り起こし、多様なニーズに対応した環境整備や柔軟な使い方を促進する必要がある。

③ 「みどりのまちづくり」について

今後の「みどりのまちづくり」で特に必要と思う取組み

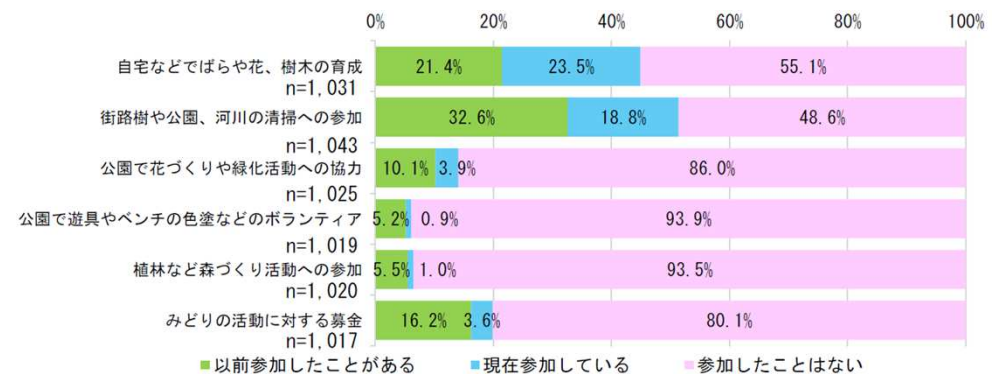
- 「樹木の維持管理の充実」、「暑熱対策のための植栽の整備」、「花やみどりでの景観づくり」の順に高い傾向
- 年代ごとに顕著な差は見られず、いずれの区域も上記3項目が上位。

「みどりのまちづくり」への参加の意向

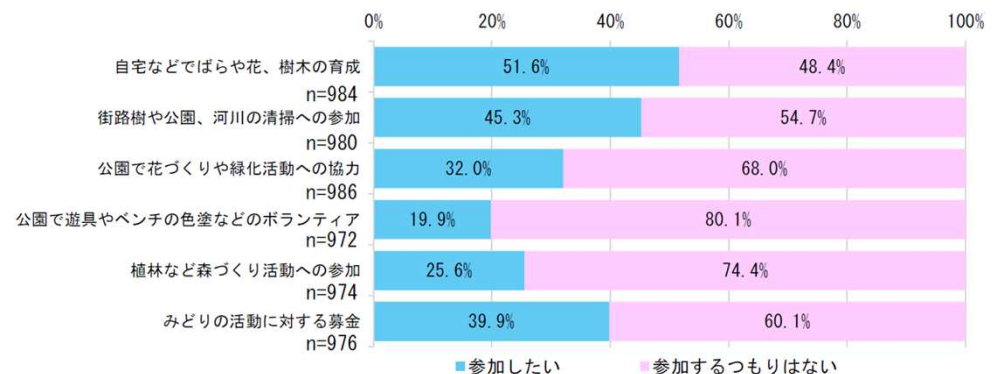
- 「自宅でのばらや植物の育成」「公園や河川での清掃活動」への参加率は5割前後。今後の意向も横這い。
- 「緑化活動」や「ボランティア活動」、「森づくり活動」への参加率は1～2割。今後の参加意向は2～3割。
- 「みどりの活動への募金」についても2割が参加。今後の参加意向は4割。

⇒ 参加の意向がある市民に対して、効果的な情報発信や仕組みづくりが必要と考えられる。

【みどりのまちづくりへの参加状況】



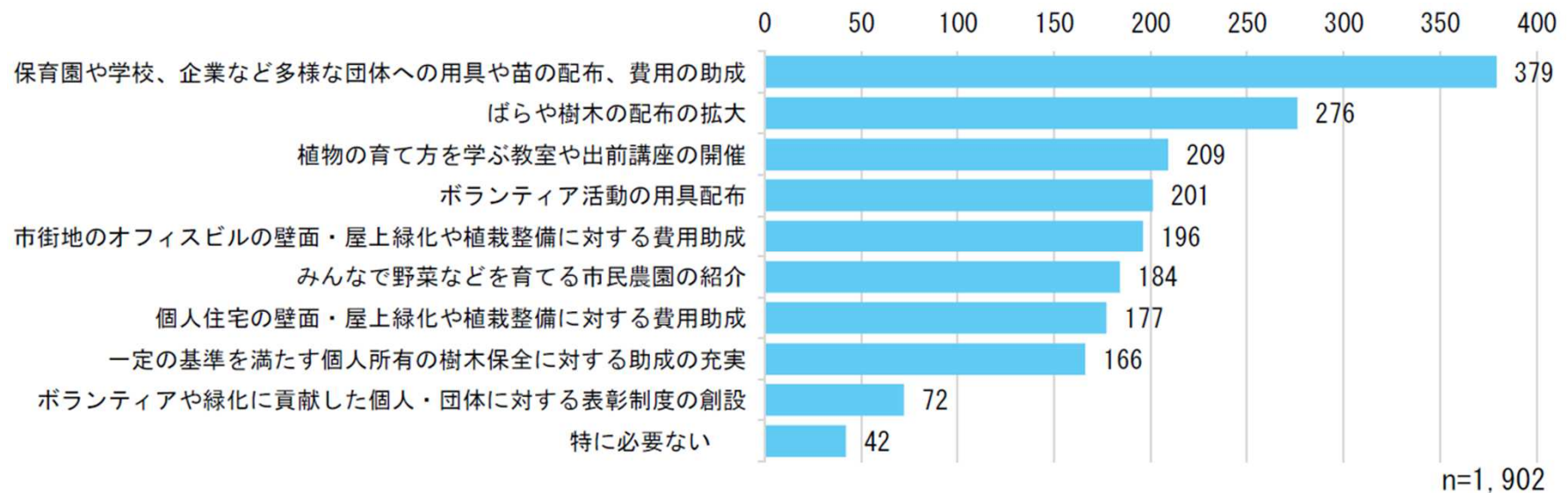
【みどりのまちづくりへの参加の意向】



③ 「みどりのまちづくり」について

「みどりのまちづくり」への興味・関心

【多様な主体が「みどりのまちづくり」に参加する上で、特に必要と思う支援策】

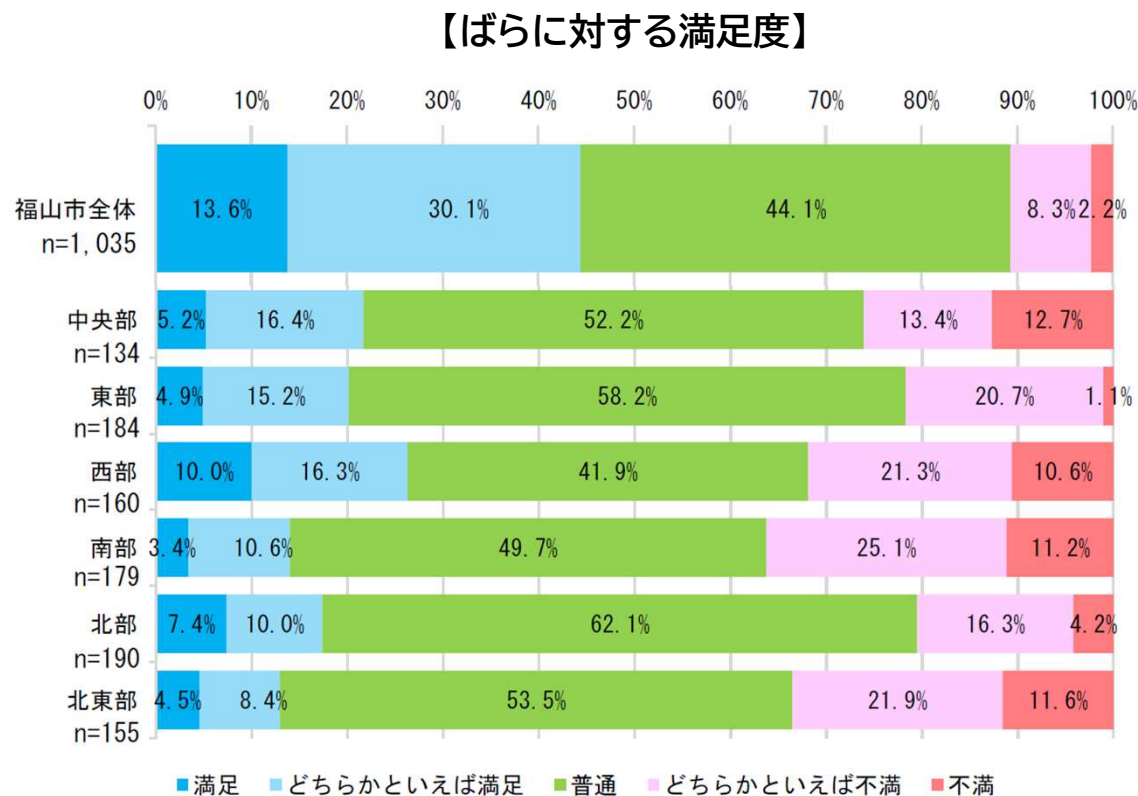


- ⇒ 取組みに必要な用具や苗の支給、費用の助成を求める意見が最も多い。
ばらや樹木の配布の拡大を求める意見も多い。
市民農園の紹介など、多様な取組みに関する情報発信も求められている。

④ 「ばらのまちづくり」について

ばらに対する満足度

- 「市全体のばら」に対して、約4割が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、不満も少ない。
- 「身近なばら(居住区域別)」に対する満足度はやや低く、不満もやや多い傾向にある。
- ばら公園等の拠点整備により、市全体の印象はよいが、市民の身近な生活空間では、ばらの量や質が十分でないと感じ止められている。



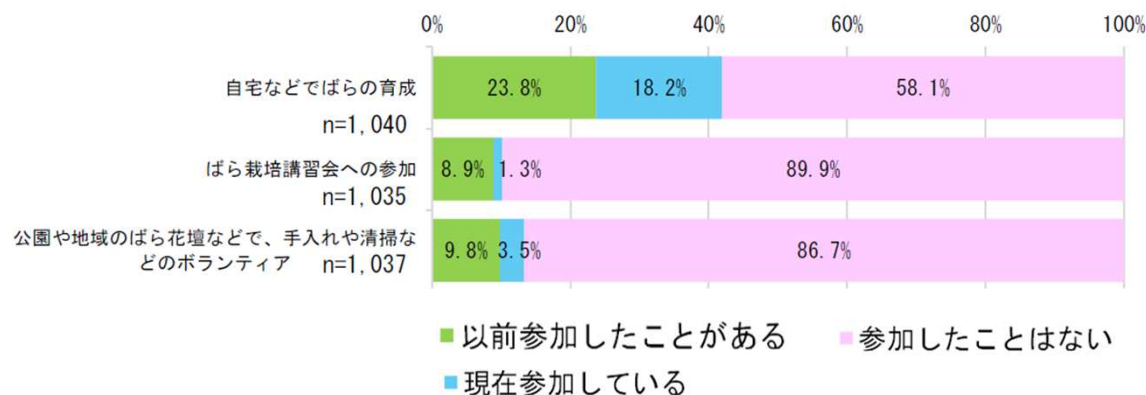
⇒ 市民がより身近に感じる日常生活空間におけるばらの充実が求められている。

④ 「ばらのまちづくり」について

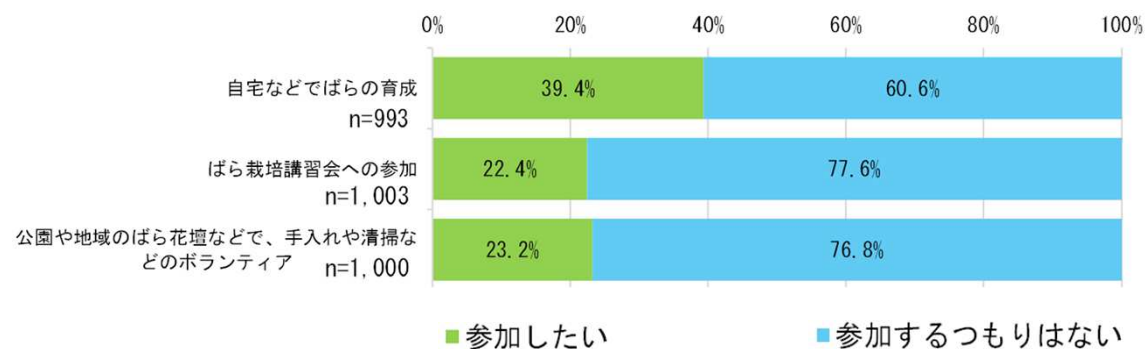
「ばらのまちづくり」への参加の意向

- 「自宅などでのばらの育成」に約4割が参加。
- 栽培講習会への参加経験は1割程度。
- 講習会参加者と同じ割合の市民が、公園や地域のばら花壇の維持管理にボランティアとして携わっている。
- 栽培講習会やボランティア活動への参加の意向を示す市民の割合は、現況の参加率を大幅に上回っている。

【ばらのまちづくりへの参加状況】



【ばらのまちづくりへの参加の意向】



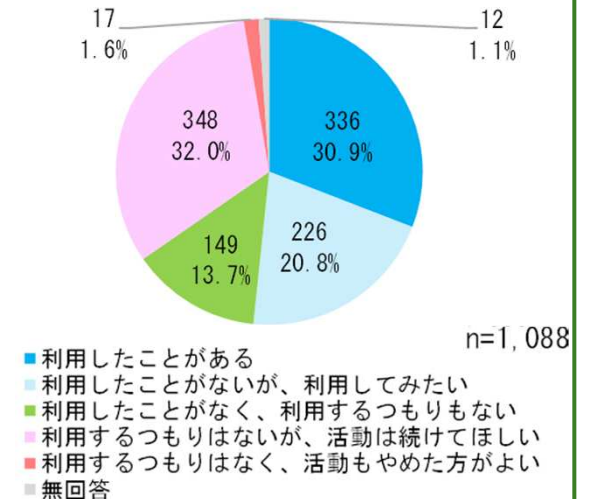
④ 「ばらのまちづくり」について

ばらの苗や樹木の配布の利用状況

- 「利用したことがある」、「利用したことはないが利用してみたい」、「利用するつもりはないが活動は続けてほしい」といった肯定的な意見が8割を占めている。
- 利用しない(できない理由)としては、「スペースの不足」「既に満足している」「手入れが面倒」がそれぞれ2割強。
- 「植え方や世話の仕方が分からない」「申請の仕方や窓口が分からない」といった情報不足によるものが1割強。

⇒ 潜在的なニーズが認められることから、窓口や手続きに関する情報発信、講習会の開催案内や開催方法などを工夫することにより、参加の障壁を取り除くことが効果的と考えられる。

【ばら苗配布等の利用状況】



【利用しない(できない)理由】

